

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年11月14日 (2013.11.14)

【公開番号】特開2012-83520(P2012-83520A)

【公開日】平成24年4月26日 (2012.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-017

【出願番号】特願2010-229353(P2010-229353)

【国際特許分類】

G 0 9 F 13/06 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

B 6 0 R 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 13/06 Z

F 2 1 S 2/00 4 1 0

F 2 1 S 2/00 4 3 0

B 6 0 R 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月27日 (2013.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

意匠の形状を表す意匠形状部を有し、その意匠形状部内に下面が開口した凹所が形成されている意匠体と、該意匠体の下方に配設され、平面視で該意匠体の外形と略同一の外形を有する平板状のシート体と、前記シート体の下面側に配設され、上面に該シート体の下面全体に接する発光面を有し、光源からの光を導光する平板状の導光体とを備え、

前記光源が前記意匠体の凹所内で、前記導光体の発光面に近接して配設されている、意匠体を発光表示する面状発光装置。

【請求項 2】

意匠の形状を表す意匠形状部を有し、その意匠形状部内に下面が開口した凹所が形成されている意匠体と、該意匠体の下方に配設され、上面に発光面を有し、光源からの光を導光する平板状の導光体とを備え、

前記光源が前記意匠体の凹所内で、前記導光体の発光面に近接して配設されている、意匠体を発光表示する面状発光装置。

【請求項 3】

前記光源の直下位置で前記導光体に、その上下方向に貫通する貫通孔が形成されている請求項 1 または 2 に記載の面状発光装置。

【請求項 4】

前記貫通孔は、前記導光体の上面における孔径が 0 . 4 ~ 1 . 0 mm、下面における孔径が 1 . 0 ~ 4 . 0 mm の範囲であって、その孔内側面が前記導光体の下方に向かって孔径が次第に大きくなる略円錐体形状を有する請求項 3 に記載の面状発光装置。

【請求項 5】

前記貫通孔の孔内側面は、下に凸となるような湾曲形状である請求項 4 に記載の面状発光装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【特許文献1】特開2006-44330号公報

【特許文献2】特開2006-44329号公報

【特許文献3】特開平11-306831号公報